

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

「放課後子ども教室」（岩手県野田村）

取組事業

放課後子ども教室（のだキッズセンター事業）

活動実施場所

野田村体育館、野田村村総合センター、玉川児童館

取組概要

小学生の放課後の安全・安心な居場所づくりとして活動を始めた事業である。

地域の方をボランティアとして迎え、様々な体験活動を行っている。

【内容】

- ・ りょうりにチャレンジ
- ・ おどりにチャレンジ
- ・ 作ってあそぼう
- ・ 体育館であそぼう
- ・ さどうにちょうせん
- ・ えほんであそぼう
- ・ えてがみをかこう
- ・ キッズ玉川児童館
- ・ 元気いちゃんとあそぼう(他事業との合同開催)



事業成果

- 児童にとっても、ボランティア講師の方々にとってもよりよい交流や学びの場であり、また、児童たちの安全・安心な居場所となっている。
- 子どもたちが学校や家庭以外に社会との繋がりを感じることでできる場所であり、子どもたちの社会性が育ってきている。
- 低学年児童が積極的に参加しているが、発達段階に応じた活動内容となるよう工夫したことで、多くの児童がより意欲的に活動する姿が見られた。
- 本事業の内容として村民文化祭への参加を企画し、活動時間を利用しダンスの練習を行った。多くの地域の方に成果を見ていただくことで、児童が達成感や向上心を養う場となった。

	のだキッズセンター事業 回数・参加者	
	回数	参加者人数（児童）
H27	65回	896人
H28	41回	506人

（平成28年11月末現在）

課題や今後の取組

（今後の課題）

- 活動内容によって参加者数にばらつきがある。周知方法など工夫が必要である。
- 事業評価・検証の方法について協議し、より良い事業となるよう努める。

（今後の取組）

- ボランティア講師だけではなく、村内の様々な方々と触れ合える機会をつくる。
- 引き続きボランティア講師の方々へお願いし、魅力ある事業としていく。